

地域NEWS

中部地区

オクシズ材の活用で勉強会

中部農林と静岡市

静岡県中部農林事務所と静岡市中山間地振興課は7月31日、静岡市役所で街のにぎわいとオクシズ材の活用をテーマに、「山・街・つながり いきいき」の勉強会を開いた。

勉強会は、オクシズ材を活用して旧食堂をリニューアルオープンした「茶木魚(ちやきつこ)」で行われた。木材を使うことの意義や快適空間のPR、SDGsにおける



オクシズ材の活用について語る佐藤所長

位置付けなどについて、県と市、静岡木材業協同組合の職員が意見を交換した。

冒頭、中部農林事務所の佐藤光所長は、静岡市の取り組みを高く評価しながら、「地元木材を活用していく仕組みを社会に定着させることが大切。勉強会を通じて促進できれば」とし、「森と街が木材でつながり、物とお金が循環すること」

土木施工管理 技術発表会開く

静岡建協など

静岡建設業協会(市川照会長)と静岡土木施工管理技士会静岡地区(石垣知巳地区長)は7月31日、静岡市内で2019年度の土木施工管理技術発表会を開き、約180人が参加、5社5人の技術者が技術発表を行った。

市川会長「写真」は、「技術の向上を図ることは技術者の責務であり、そつた技術の研さんが静岡の発展に寄与するこ

人が集まり、地域が元気になる」と期待した。また、茶木魚整備の経緯とコンセプト、オクシズ材の活用などの報告があり、今後も勉強会を重ね、連携して活動していくことを確認した。

土木施 年度



建設コンサルタントセンター(静岡市清水区、小田秀昭社長)は、7月30日から8月1日まで静岡県立科学技術高等学校のインターンシップ制度に協力。都市基盤工学科2年生の藤木友さんが就業体験をした。

「現場ではトータルステーションでの測量、GNSS(全球測位衛星システム)の活用など、ICT施工など生産性向上へ向けた取り組みが本格化しているのを、吸収していただきたい」と話した。

科技高生が 就業体験

建設コンサルタントセンター

建設コンサルタントセンター(静岡市清水区、小田秀昭社長)は、7月30日から8月1日まで静岡県立科学技術高等学校のインターンシップ制度に協力。都市基盤工学科2年生の藤木友さんが就業体験をした。



指導に当たる中島氏

就業体験で 高校生受入

橋本組

橋本組(焼津市、橋本勝策社長)は、島田建設業協会(橋本勝策会長)が実施するインターンシップを行った。



熱心に体験を行う生徒ら

どの現場を見学した。また、焼津漁港や御前崎港の現場でコンクリートのスランピング試験や打設体験なども行った。同社の担当者は「生徒たちの熱心な姿勢が印象的だった」と話し、「地元で建設業に携わりたいという気持ちが強くなった」と話した。

日本キヤタと共催 ICTセミナー

豊富

豊富静岡市葵区、松浦睦巳社長)と日本キヤタビル静岡営業所(藤枝市水守)は、共催で「建設ICTセミナー」現場見学会を開いた。写真。セミナーは、浜松市天竜区の光明ふれあいセンターを会場に実施し、同区二俣町で現場見学会を行った。当日は静岡県西部地区の建設業者約40人が参加した。

西部地区

上下水道部が 優良事業者表彰

浜松市

浜松市上下水道部は7月31日、2018年度に施工した給水装置工事や排水設備工事などで優良な成績を収めた事業者を表彰した。写真。

水道事業・下水道事業の寺田賢次管理者は「水道事業は、人口減少や少



子高齢化などにより厳しい経営環境が見込まれるが、今回の受賞を業界全体のレベルアップにつなげてほしい」とあいさつした。受賞者を代表して設備ナカムラ(浜松市東区)の中村全宏社長は「他の事業者の模範となるよう技術力の向上に努めていきたい」と謝辞を述べた。

安全を祈願

ながふじ学府 一体校

警田市は、ながふじ学府一体校整備工事の安全祈願祭を同市内で行った。写真。渡部修警田市長や地元自治会、建築士などを担当する石川建設(警



警田市長は「地域の現状に即した小中一体校のモデルづくりを目指す」とあいさつ。

田市)などから関係者約110人が参加し、工事の無事を祈った。神事の後、渡部市長は「時代の学校づくりにより携わることができ光栄。安全施工に万全を期す」と決意を示した。施設の規模は鉄筋コンクリート造4階建て延べ1万7373平方メートル。小中学校と放課後児童クラブ、共同調理場などを整備する。建設地は警田市加茂243。2021年4月の開校を目指す。設計は久米設計名古屋支社(名古屋市中村区)、電気設備工事を栗原工業(田市)が担当する。

伊佐見小児童 招き工場見学

西部合材リサイクルセンター

西部合材リサイクルセンター(静岡市清水区、須山宏造理事長)は1日、浜松市立伊佐見小学校3、6年生の児童と保護者24人を招き工場見学会を開催した。写真。建設廃材を砕石に再生する過程の紹介やロードローラーなど建設機械を



建設廃材を砕石に再生する過程の紹介やロードローラーなど建設機械を

保育園建設へ 安全祈願祭

やまもも福祉会

社会福祉法人やまもも福祉会(御前崎市、後藤憲志理事長)の(仮称)やまもも保育園建設工事「安全祈願祭」が2日、御前崎市内の建設地で

行われた。関係者ら約40人が出席し神事を行い、写真。工事の安全を願った。同工事は、御前崎市の浜岡保育園建て替え・民営化事業によるもの。後藤理事長と御前崎市の柳澤重夫市長は、事業の推進に協力した関係者に謝意を示すとともに、施工者の技術力や安全管理体制に期待を寄せた。施工者を代表してタク



建設(御前崎市)の岡村誠社長は「約8カ月の工期をしっかりと務め上げる」と決意を述べた。

午前中に最新GNSS測量機器・ドローン搭載型3Dグリーンレーザーの説明と地上3Dスキャナー使用方法、3次元設計データ作成についての座学を行った。午後は、3DマシンコントロールICT施工/3201073D、ペイロード&Eフェンス&インフィード、2D設マシンガイドン施工、3Dスキャナー、GNSS測量機器をそれぞれ体験した。



GNSS測量機器・ドローン搭載型3Dグリーンレーザーの説明と地上3Dスキャナー使用方法、3次元設計データ作成についての座学を行った。